



日本共産党港区議会議員

星野たかし

区政報告

No.93
2004年
1月

発行

日本共産党港区議員団
港区芝公園1-5-25
TEL(3578)2945 FAX(3578)294
《連絡先》3449-1202(星野自宅)
[HP]http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

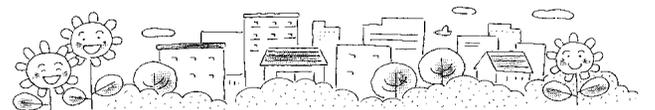
03年港区議会第4回定例会本会議での日本共産党代表・一般質問



03年港議会第4回定例会で、北村利明議員が代表質問、星野たかし議員が一般質問を行いました。主な項目と質疑の骨子をご報告します。

- (1)憲法9条を中心とした改悪に反対の意思表示を。
【区長答弁】憲法改正の論議のゆくえを注視していく。
- (2)自衛隊のイラク派兵に反対の意思表示を。
【区長答弁】イラク情勢と国際社会の動向や国民世論の動きなどを見守っていく。
- (3)消費税増税反対の意思表示を。
【区長答弁】国の動向及び世論の状況を注視していく。
- (4)年金の引き上げ、給付の引き下げに反対の意思表示を。
【区長答弁】全国市長会を通じて要望していく。
- (5)区民サービス切り捨ての、都の第二次財政再建プランの見直しを求めよ。
【区長答弁】様々な機会を通じて東京都に強く申し入れる。
- (6)きめ細かく区民との懇談会などを開き予算編成を。
【区長答弁】予算編成での懇談会などは考えていない。
- (7)大企業応援の「まちづくり」から、区民の暮らしを応援する「まちづくり」に転換し、大企業中心の超高層などの開発への補助金支出はやめるべき。
【区長答弁】今後も区の財政状況を勘案し補助金の適切な執行につとめていく。
- (8)借り上げ住宅と同様に区立住宅などの傾斜家賃は凍結し、最高限度額の家賃は引き下げるべき。
【区長答弁】入居者が年々家賃が上がることに不安を感じているのは承知しており、家賃設定については検討していく。
- (9)区民要望が強く、交通不便地域にコミュニティバスを運行すべき。バスの運行にあたってはバリアのない低床式を。料金はワンコインで乗り継ぎ券の発行を。シルバーパスで利用できるように。
【区長答弁】廃止路線を含めたバス路線の充実について、都に粘り強く要請していく。コミュニティバスの運行にあたっては、乗り継ぎなどの各種割引、シルバーパスの利用を検討する。
- (10)介護保険料・利用料の軽減拡大を行うべき。
【区長答弁】保険料の軽減については住宅費の考慮、預貯金限度額など収入基準の要件緩和を検討する。

- (11)区民、区議会、港区が一体となって麻布米軍ヘリポート基地撤去の申入れを米政府、防衛施設庁、東京都に早急に行え。
【区長答弁】区民、議会の意向をふまえ、関係機関に基地の撤去を強く要望していく。
- (12)原因者の特定しにくい複合電波障害の解消は、他区の経験にも学んで、建築事業者に負担を求める条例・要綱の制定を早期に。
【区長答弁】開発事業者からの協力金について公平な負担のあり方など検討する。
- (13)防衛庁跡地開発の残された200本の樹木は安易に伐採させるな。
【区長答弁】事業者に対し樹木保存をするよう指導していく。
- (14)区は保育の充実、待機児童の解消のため、設置基準の低い認証保育所の実態調査を行い、区立保育園を建設し、自治体としての責任を果たせ。
【区長答弁】認証保育所については、今後も東京都と協力し、管理・監督に努める。待機児童解消は既存保育所の改築・改修、都心型認証保育所の設置で。
- (15)中小企業対策として、商店が共同して障害者などから注文を受け、宅配する制度を区が支援する事業の実施を提案する。
【区長答弁】港区商店街連合会の事業研究に合わせ必要な支援を行っていく。
- (16)障害者団体でつくっている商品を、商店街の空き店舗を区が借り上げ、コミュニティーの拡大、販路拡大の場に活用することを提案する。
【区長答弁】福祉差し行書などでの製品は安定的な生産出荷という点で未成熟。空き店舗の活用は考えていない。
- (17)高層ビルなどの建築主は、建築説明会などでの約束を一方的に反故にする例など「紛争予防条例」を無視するやり方が後を絶たない。条例を住民の立場に立って改正すべき。
【区長答弁】紛争の未然防止や早期解決、良好な近隣関係の保持の視点に立って、条例を見直す。
- (18)解体工事を「紛争予防条例」の対象に。
【区長答弁】解体工事に関する紛争の事前防止の観点から建築解体工事に関する指針の策定を進めている。今後は「紛争予防条例」の中でも、必要な対応は検討していく。
- (19)学校給食の民間委託は、教育委員会のアンケートでも反対が賛成を上回っている。来年度から強行することなく、更に区民の声に耳を傾けるべき。
【教育長答弁】関係者の理解を得て方針を決定する。



今年も皆さんと一緒に平和・暮らしを守るため全力をあげます



参議院議員・国対委員長代理

小池 晃



党東京都委員会青年学生部長

今村 順一郎



前東京都議会議員

くぼた 光

なんでも相談会

1月26日(月) 2月25日(水) 午後7時 白金福祉会館・集会室 弁護士・区議が対応いたします。
連絡先...星野自宅TEL:3449-1202 区議会控室TEL:3578-2945

参議院・区長選挙を全力で



昨年のご支援有り難うございました。

イラクへの自衛隊派兵、消費税増税、年金改悪、景気の悪化など平和憲法・国民生活への圧迫が進み、平和・生活向上を求める国民的な大運動が巻き起こる新たな激動の中で新年が明けました。

今年は区長選挙、参議院選挙が連続して行われます。国政・区政改革の絶好のチャンスとして、皆さんと一緒に草の根運動を巻き起こし、全力をあげる決意です。

今年もよろしくお願いたします。

二〇〇四年 元旦

日本共産党港区議会議員 星野 たかし

三田5丁目『裏道の安全を守るための請願』が全会一致で採択

事業主は速やかに計画変更を



委員会視察の際、説明に集まった住民の方々

昨年の第4回定例会で、「裏道の安全を守る会」(代表・岡田幸一さん)から提出されていた『(仮称)グラサ白金高輪 港区三田5丁目236番地 新築

計画案から裏道(生活道路)を守るための請願』が全会一致で採択されました。

同請願は、魚藍坂下交差点の「さわやか信用金庫」跡地に、(株)菱和ライフクリエイトが建設しようとしている、地上17階・地下2階、高さ約53メートルの高層ビル、(仮称)グラサ白金高輪の駐車場の出入り口を、裏道から表通りの第1京浜国道側に変更するよう関係機関に強く働きかけることを区議会に求めたものです。

審議を付託された建設常任委員会では、多数の傍聴者が見守る中、冒頭に「守る会」の岡田代表が請願の趣旨説明が行われました。各委員からは「計画変更は可能」「安全確保は当然の要望」など意見が述べられ審議の結果、全会一致で採択されました。

駐車場の出入り口が接することになっている裏道は、延長約20メートル、狭いところで道幅3メートルの一方通行路で、建築が完成すれば少なく見積もっても新たに1日約八十台の車両が通行すると予想され、子どもからお年寄りまで安心して利用してきた裏道が一変して「危険な裏道」となってしまいます。事業主は住民の声と請願を採択した議会の意志に従い計画の変更を速やかに行うべきです。

同計画は、「さわやか信金ビル」の解体工事でも近隣住民に大きな被害を与えていました。



飯倉小廃校案 - - -

住民との合意なく提案 会議規則無視して「可決」

こんな乱暴なやり方が許されていいのでしょうか

港区議会第4回定例会は12月12日の最終日、本会議で、区立飯倉小を廃校する条例案の採決が行われ、15対15の可否同数となりました。可否同数による議長裁決が行われるにあたって、日本共産党の風見利男議員(団長)が休憩動議を提出したのに対し、議長が、この動議を採決しないまま、条例案に対する議長裁決を行おうとしたため、会議規則に則った議会運営をめぐる議事が中断。そのまま会期終了の午前零時を迎え、本会議は飯倉小廃校条例と若干の議案を残して流会しました。

しかし自民・公明など廃校推進派は「条例案は可決された」と主張し、強引に廃校をすすめようとしています。

区長提案は「廃校」のみ。子どもたちの行き先も決まっています

これまで港区では各地で統廃合がすすめられてきました。これまでの統廃合では、学校間交流をやったり、学校名や校章、校歌をどうするかなど統合に向けた様々な対応がされていました。

しかし今回の飯倉小の場合、区長の提案は「廃校」のみ。統合する学校も決まっていない、廃止後検討する、という全くひどいものです。

議会、行政におけるこれらの数々のボタンのかけ違いを一日も早く正し、改めて話し合いのテーブルをつくるのが、区長に求められています。